



# 平成18年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成17年 8月10日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ

(コード番号: 5955 大証第2部)

(URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

谷川 満

TEL (075) 591-2131

責任者役職・氏名 専務取締役

藤崎 修

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無: 無

## 2. 平成18年3月期第1四半期業績の概況(平成17年4月1日~平成17年6月30日)

### (1) 売上高

	百万円	%
平成18年3月期第1四半期	944	△19.7
平成17年3月期第1四半期	1,176	0.8
(参考)平成17年3月期	4,287	

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

3. パーセント表示は、前年同四半期比増減率を表示しております。

4. 前連結会計年度で重要性の観点から除外しました子会社のツイス㈱、OTS Travel Service Inc.は平成17年3月期第1四半期時点では除外されていません。

### [売上高に関する補足説明]

当第1四半期における我が国経済は、原油価格の高騰や中国通貨元の切り上げなどにより、景気全体は踊り場状態となりました。設備投資でも計画的な投資活動はあったものの慎重化する傾向が見うけられました。

このような状況のもと、当グループは、自動車関連や精密機器が好調に推移しましたが予想以上に輸出商品や遊具機器の伸び悩みとなり、その結果、売上高は、9億44百万円となりました。

### (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する注記に係る経過

当グループは、第130期末における累積赤字41億9,769万円計上いたしました。

この状況を解消すべく、製造面においては、原価管理・生産技術管理システムよりさらなる原価低減を実行し、同時に利益率の高い商品群を増やし高付加価値商品へシフトすることで利益率の向上に努めてきました。販売面におきましては、製販一体となった情報の共有化でタイムリー・スピーディーな情報を武器に効率的な提案型営業活動を行っております。

また、今年6月の定時株主総会において経営陣を一新し、株式併合、減資、第3回新株予約権の発行と新たな資本政策を行い、安定株主を得ることにより、ねじをコア事業とし新規事業として自動車用部品の製造・販売、商業施設の開発、情報コンテンツの開発等に取り組み企業価値を高めながら体質強化を図り、継続企業の前提に関する状況の解消に邁進いたします。

## 3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

### [業績予想について]

第1四半期の売上高は平成17年5月25日に発表した業績予想に対し、ほぼ予想通り推移しており、通期の業績予想の変更はありません。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上